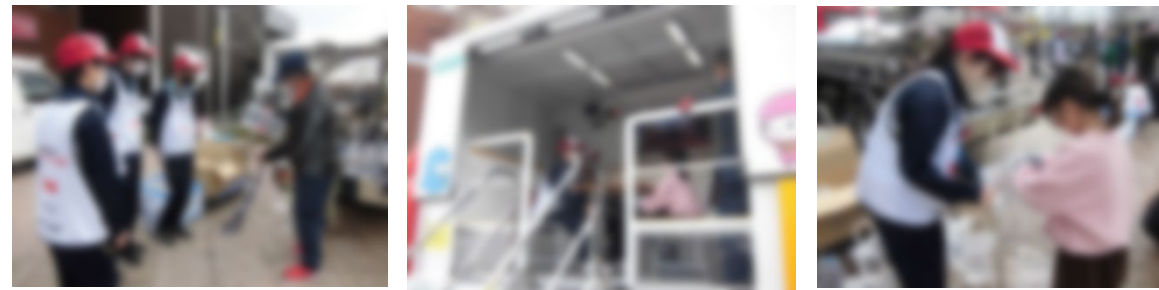


あらBOSAI

3月5日(日)に、「あらBOSAI」がロイヤルホームセンター南千住店にて行われました。これは、防災について楽しく学び、子どもたちの防災意識を高めることを目的に開催されているもので、3年ぶりとなる今年も南千住二中から、1、2年生のスーパースキュー部員12人が参加しました。午前中は初期消火訓練や起震車体験、給水車体験などの訓練を行いました。午後からは、体験に訪れた多くの小学生とご家族の案内誘導や小さなお子さんと一緒に防災プログラムの体験・指導をするなど色々な面で大活躍して、防災意識の向上に努めました。



2年生 校外学習

延期されていた2年生の校外学習が3月8日(水)に実施されました。8時から8時20分の南千住駅チェックを、全班が遅れることなく通過し、電車で出発しました。当日は温かな日差しの差し春を思わせる陽気で絶好の校外学習日和となり、班ごとに分かれて、長谷寺や高德院、明月院、建長寺などのお寺や佐助稲荷神社や銭洗弁財天、などの神社を見学してまわりました。最後は小町通りでお土産を買い、時間通りに全員が鎌倉駅に到着し、電車で帰路につきました。ルールやマナーを守って、友だちと仲良く元気に活動し、鎌倉で沢山の思い出ができました。



1年生 邦楽鑑賞教室

3月3日(金)、サンパール荒川大ホールを会場にして、荒川区立中学校「伝統文化鑑賞教室」が行われました。南千住二中は、午前の部に1年生が参加。日本の伝統芸能である邦楽について舞踊、掛合、箏曲、合奏の4つのジャンルに分かれ、それぞれ「越後獅子」「喜撰」「さくら21」「花見踊」の4演目が上演されました。幕間には、唄や三味線、囃子、琴、尺八などの音色や演奏の仕方、唄の掛け合いなどについて解説があり、歌う順番が扇子を手にするなどでわかるなどの注目ポイントが紹介され、生徒がたいへん興味をもってわかりやすく邦楽を楽しむことができました。「さくら21」では、お馴染みの「さくら」が六張の琴、十七弦という低音の琴、日本古来の弦楽器「胡弓」尺八による華やかな大合奏曲にアレンジされ、圧巻の演奏に身を乗り出して見入るなど、誰もが舞台を真剣に見入りました。日本の伝統芸能の表現力豊かな世界に触れた1日でした。



ご協力ありがとうございました

令和4年度学校関係者評価のまとめ

令和4年度 学校関係者評価における自己評価 荒川区立南千住第二中学校

No.	設 問	肯定% (昨年度)	学校の自己評価(考察)
1	教育目標・方針 「教育目標は明確で具体的」	94% (93%)	年々確実に浸透している。生徒・保護者の中に「よく分からない」という回答が若干あるため、さらに工夫して示す必要がある。
2	生徒の様子 「明るく活発で元気」	96% (95%)	例年高い肯定感を残している。この結果に慢心することなく、本校に通うすべての生徒が楽しく過ごせる教育活動を展開していく。
3	基本的な生活習慣 「生徒の服装や髪型がきちんとしており」	95% (93%)	委員会によるあいさつ運動や、時間を守ろうという呼びかけが活発であり、ほとんどの生徒が落ち着いた生活習慣を定着させている。
4	生徒理解 「生徒の個性や能力が十分に発揮されている」	85% (86%)	高い肯定感を残しているが、「あまりあてはまらない」といった声も少なからずある。指導体制を見直し、個々の生徒理解に努める。
5	健康・安全・安心 「安全確保・事故防止に努めている」	95% (96%)	例年高い肯定感を残している。今後も計画的、組織的な避難訓練・安全指導を継続し、生徒の防災意識をさらに高めていく。
6	分かる授業 「理解が深まりやすい授業が行われている」	89% (89%)	全体的には高い肯定感を残しているが、生徒と教員の回答に乖離が見られる。日頃の教科指導を振り返り、指導の改善に努める。
7	個に応じた指導 「生徒の個性や能力に応じた指導が行われている」	86% (86%)	こちらも生徒と教員の回答に差が生じている。教員の連携を密にし、個々の生徒への共通理解を深めながら教科指導の改善を図る。
8	学習習慣 「自主学習や自習室などでの学習が盛んに行われている」	76% (71%)	自習ノートや自習教室などの取組により、年々肯定率は上がっている。こういった指導を継続すると共に、家庭との連携も深めていく。
9	情報教育 「ICTを活用した学習が行われている」	91% (89%)	オンライン授業やタブレットPCを活用した教育活動など、コロナ禍であっても教育活動を止めないためにICTを有効活用できた。
10	学校図書館の活用 「読書活動や図書利用が盛んに行われている」	51% (48%)	本に興味関心を示す生徒が減少している。図書室を各授業で活用するなど、読書に親しむ姿勢を意識的、計画的に指導する必要がある。
11	人権教育 「人権尊重の意識が醸成されている」	93% (94%)	高い肯定感が示すように、人権侵害に対する大きなトラブルは起きていない。今後も教育活動全般において人権教育を充実させていく。
12	道徳教育 「道徳教育の充実が図られている」	89% (89%)	道徳授業では身近な題材を提供し、興味・関心の向上を図っている。教育活動全般において道徳心の育成を図っており定着しつつある。
13	教育相談 「生徒の悩みや問題に対して適切に対応している」	72% (72%)	おおむね肯定感はあるが、保護者、生徒と教員の回答に乖離がある。個々の生徒に対する共通理解を深め、支援体制の充実を図る。
14	人間関係づくり 「生徒間の関係が良好に保たれている」	94% (92%)	学校行事など体験活動を重視している本校の取組は、例年高い肯定感を残している。今後も学校行事を中心にその充実を図っていく。
15	自治的な活動 「生徒の自主的な活動が盛んに行われている」	94% (93%)	コロナ禍で制限がある生活ではあるが、自治活動が活発に行われており、生徒の本校への愛着心も高い。さらなる指導の充実を図る。
16	情報発信 「学校の様子をHP等で発信している」	88% (93%)	一定の肯定感を残しているものの、保護者と教員との回答に差が生じている。保護者の期待に添えるよう情報発信の仕方を改善する。
17	相談への対応 「生徒の悩みや問題に対して適切に対応している」	92% (91%)	高い肯定感を残しているが、これも保護者と教員との回答に差が生じている。日頃の対応を見直し、保護者との連携を深めていきたい。
18	学校への参加 「保護者や地域からの参加が盛んに行われている」	83% (83%)	これも保護者と教員との間に差が生じている。保護者や地域からの意見を聞き、より保護者が教育活動へ参加しやすい方法を検討する。
19	地域への参加 「地域活動への参加が盛んに行われている」	86% (82%)	限られた学校生活ではあるが、可能な限り地域活動へ参加し関わりを保つことができた。地域に属する中学校として来年度も継続したい。
20	意見の反映 「保護者や地域の意見が適切に反映されている」	92% (91%)	高い肯定感を残しているが、保護者から「あてはまらない」といった回答もある。保護者との連携を深め、より良い学校作りを目指す。
21	基礎・基本の徹底 「教科書や学習指導要領に基づいた学習が行われている」	85% (86%)	一定の成果を上げているが、生徒の「分からない」といった回答も目立つ。基礎基本の定着の大切さを、日々の授業から指導していく。
22	進路指導の充実 「進路指導の充実が図られている」	89% (89%)	各学年のキャリア教育が充実しており一定の成果を上げているが、これも生徒の「分からない」といった回答も目立つ。将来も考えた計画的な進路指導を実践し、自己理解を深める。
23	地域学習 「地域活動への参加が盛んに行われている」	90% (89%)	南千住検定や霜月祭での地域を題材とした劇など、本校の特色である教育活動が浸透している。今後も地域と共に教育活動を展開する。
24	JRC活動 「JRC活動が盛んに行われている」	90% (92%)	絆ネットワークを年間を通して計画通りに進めることができた。そこで生徒が得た経験は、豊かな人間性の育成につながるものである。
25	学校生活のきまり 「校則や校風がしっかりと守られている」	95% (-)	生徒や保護者の声に柔軟に対応し高い肯定感を残した。規範意識も定着しており、落ち着いた環境の中で教育活動実践している。

今年度ご協力をいただきました学校関係者評価の「良くあてはまる」「だいたいあてはまる」の合計です。詳しいデータ等は本校ホームページにて公開しておりますので是非ご覧ください。